

裏面をご覧ください。▶▶▶

▶▶▶▶▶ 表面からの続きです。

ステップ6

初期設定をする

管理PCからリモートデスクトップ接続できるようにするために、本装置の初期設定を行います。

本体内蔵のLANポート1に割り当てる情報として、「コンピュータ名」、「IPアドレス」、「サブネットマスク」、「管理者パスワード」を事前に決定してください。

* IPアドレスとサブネットマスクは、初期設定およびリモートデスクトップ接続を行う管理PC(Windowsマシン)と同じネットワークアドレスになるよう設定してください。

* 管理PCがWindows2000の場合は、事前にリモートデスクトップのインストールを行ってください。リモートデスクトップは、Windows XP の OS 媒体に格納されています。または、マイクロソフト社のホームページ(<http://www.microsoft.com/japan/>) にアクセスし、「Remote Desktop Connection Software」のキーワードで検索して入手してください。なお、「C:\¥ProgramFiles¥Remote Desktop"以外にリモートデスクトップをインストールした場合は、初期設定ツールを起動した際にWINNT フォルダに作成される"iStorageNSSetup130.ini"というファイルを開き、「RdesktopPath」に記述されたファイルパスを正しいリモートデスクトップのインストールフォルダに変更してください。

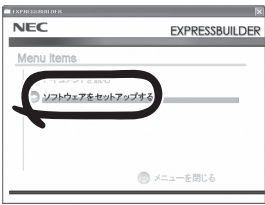
初期設定ツールの実行は、本装置と同じネットワーク上にある管理PC (Windows 2000+IE6.0/Windows Server 2003/Windows Server 2003 R2/Windows Server 2008/Windows Server 2008 R2/Windows XP/Windows Vista/Windows 7) と添付の「EXPRESSBUILDER」CD-ROMを使用します。

参照 詳細については、初期設定ツールのヘルプを参照してください。初期設定ツールを起動せずにヘルプを参照したい場合は、以下のファイルを開いてください。

[EXPRESSBUILDER]CD-ROMの
¥NASAP¥iStorageNSsetup.chm

① ステップ5で本体の電源をONしたら、管理PCの光ディスクドライブに「EXPRESSBUILDER」CD-ROMをセットします。オートラン機能によりメニューが自動的に表示されます。表示されない場合は、光ディスクドライブ内の「¥autorun¥dispatcher.exe」を実行してください。

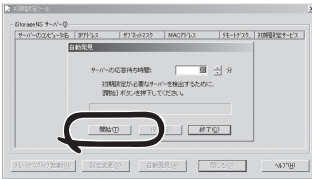
② [ソフトウェアをセットアップする]をクリックして、表示されたメニューから[初期設定ツール]をクリックします。



③ 初回のみ[ご確認]の画面が表示されます。装置添付の使用許諾契約書をご一読の上、[OK]をクリックします。

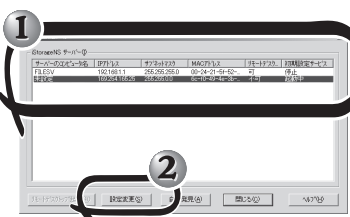


④ 初期設定が必要なサーバーを検出するために、[開始]をクリックします。



対象となるサーバーが、初期設定ツール画面内の[サーバーのコンピュータ名]欄に"未設定"と表示されます。"未設定"のサーバーが検出されましたら、[停止]をクリックして自動発見を停止後、[終了]をクリックして自動発見を終了させます。なお、対象となるサーバーのOSが起動するまでには、構成によって、20～30分かかる場合があります。30分経っても検出できない場合は、再度[開始]をクリックしてください。

⑤ "未設定"のサーバーのリモートデスクトップ起動の表示が「確認中」から「可」に変わった場合は、リモートデスクトップによる接続が可能なので、「未設定」のサーバーを選択し、[リモートデスクトップの起動]をクリックしてステップ7に進みます。「不可」に変わった場合は、「未設定」のサーバーを選択し、[設定変更]をクリックします。



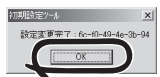
⑥ コンピュータ名、IPアドレス、サブネットマスクを入力して [適用] をクリックします。



⑦ 設定変更を確認するウィンドウが表示されたら、[OK]をクリックします。

サーバー設定の変更が始まり、サーバー設定状況の内容が順次更新されます。

⑧ 完了メッセージが表示されたら、[OK]をクリックします。



以上で、本装置の初期設定が完了し、リモートデスクトップ接続で管理できる状態になりました。

ステップ7

管理PCからリモートデスクトップ接続を行って設定する

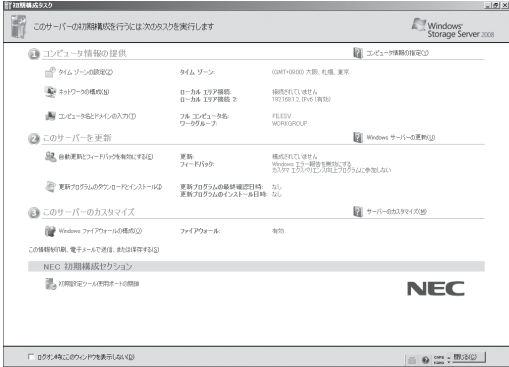
本装置と同じネットワークアドレスにある管理PCで必要事項を設定します。

設定方法の詳細が必要な場合は、ユーザーズガイドおよび管理者ガイドを参照してください。

- ① 管理PC上でリモートデスクトップを起動します。
- ② 接続先に本装置のコンピュータ名をまたはIPアドレスを入力します。
- ③ ユーザー名に「administrator」を入力し、次にパスワードを入力して[OK]をクリックします。

重要 出荷時のパスワードについては、本装置に添付のスタートアップガイドに記載されています。

- ④ 初期構成タスク画面が表示されますので、必要事項を設定します。



- * **タイムゾーンの設定**
日時が自動更新の環境でない場合は設定してください。
- * **コンピュータ名とドメインの入力**
初期設定ツールでコンピュータ名を変更していない場合、ドメインに参加する場合は設定してください。
- * **初期設定ツールで使用したポートを閉鎖**
初期設定ツールで使用したポートを閉鎖してください。

- ⑤ [スタート]-[Windows セキュリティ]をクリックします。
- ⑥ [パスワードの変更]をクリックして、パスワードの変更を行います。

重要 ● 本装置のセキュリティを保つために、出荷時のadministratorのパスワードを必ず変更してください。

● パスワードの文字数は6文字以上である必要があります。また、パスワードには、英大文字、英小文字、数字、アルファベット以外の文字の4つの種類のうち3つの種類が使用されていなければなりません。

● パスワードの有効期限は初期設定では42日になっておりますので、お客様のポリシーに合わせて適宜変更してください。

ステップ8

ESMPROをセットアップする

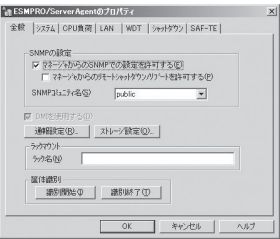
NECが提供するサーバ管理・監視ソフトウェア「ESMPRO®」のセットアップをします(その他にもディスクアレイを管理するソフトウェアなどがあります。詳しくは「ユーザーズガイド」を参照してください)。

本装置には、「ESMPRO/ServerAgent」と「ESMPRO/ServerManager」がバンドルされています。

ESMPRO/ServerAgent

iStorage NSシリーズの内部温度やファン、ハードディスクなどの状態監視やサーバに異常や障害が発生したときに自動的に本装置の電源をOFFにしたリ、本装置監視用コンピュータやページャへの通報などを行うユーティリティです。

参照 設定方法については、ユーザーズガイドを参照してください。



ESMPRO/ServerAgentをインストールした装置の状態は管理PC(ESMPRO/ServerManager)のディスプレイから確認することができます。

ESMPRO/ServerManager

ESMPRO/ServerManagerはiStorage NSシリーズと同一のネットワーク上にある管理PCにインストールするソフトウェアです。

「EXPRESSBUILDER」CD-ROMを光ディスクドライブにセットして表示されるメニューから[ソフトウェアをセットアップする]ー[ESMPRO]の順にクリックします。以降は、画面に表示されるメッセージに従ってください。

iStorage NS連携モジュール

ESMPRO/ServerManager (Ver.5未満) がインストールされている環境にiStorage NS連携モジュールを適用することで、ESMPRO/ServerManager (Ver.5未満) より、リモートデスクトップ接続が起動できます。「EXPRESSBUILDER」CD-ROMを光ディスクドライブにセットして表示されるメニューから[ソフトウェアをセットアップする]ー[iStorage NS連携モジュール]の順にクリックします。以降は、画面に表示されるメッセージに従ってください。

以上でセットアップは完了です。引き続き、管理者ガイドを参照して必要な設定を行ってください。

お読みください

OS再インストールの前に

OSの再インストールを行う際に、ディスクアレイ構成を変更したり、ベーシックディスクへ戻したりすると、ハードディスクドライブ上のデータはすべて削除されます。また、誤った手順を実行すると、ハードディスクドライブ上のデータがすべて削除される危険性がありますので、再インストール作業の前に、必ず必要なデータを外付けバックアップ装置などにバックアップしてください。

RAIDシステムの構成を変更した場合

RAIDシステムの構成を変更した場合、ユーザーズガイドを参照して、RAIDシステムのコンフィグレーション情報をバックアップしてください。

電源制御機能の使用について

本装置には電源制御機能をサポートしていないアプリケーションが含まれています。スタンバイ/休止状態で運用しないでください。

本装置のシャットダウン操作について

本体のPOWERスイッチを使って本装置をシャットダウン(電源OFF)しないでください。シャットダウンは、管理PCからリモートデスクトップ接続し、シャットダウン操作を行ってください。UPSに接続している場合は、UPSの管理ソフトウェアを利用したスケジュールシャットダウンを利用することもできます。

本装置のドキュメントについて

管理者ガイドおよびユーザーズガイドは「EXPRESSBUILDER」CD-ROMに格納されていますが、改版されることがあります。最新版は以下にてダウンロードできますので、ご確認をお願いします。

[NEC iStorage NSシリーズサポート情報]
<http://support.express.nec.co.jp/istorage/>
[補足]

上記 URL にて "キーワードから探す" を選択し、テキストボックスに製品名とガイド名を入力して検索してください。

システムのパフォーマンスを活用するために

N8103-102増設バッテリーを搭載している場合は、本装置のパフォーマンスを最大限に活用するために、ディスクアレイコントローラのライトキャッシュの設定を「Write back」にする必要があります。特にNFS機能を使用する場合にはこの設定は有効ですので、「Write back」に設定することをお勧めいたします。

iStorage NSシリーズのご利用にあたって

iStorage NSシリーズでは、基本となるサポート情報を以下のサイトに公開していますので、定期的にご参照頂くか、RSSの配信登録を行い、製品をメンテナンスされることをお勧めします。

<http://support.express.nec.co.jp/istorage/>

また、有償の保守サービスとして「PP・サポートサービス」を準備しております。本サービスをご契約いただくと、電話や電子メールなどでのお問い合わせ、ご契約者様専用IDでのWebサーバへのアクセスなどが可能となり、ソフトウェアのQ&Aや技術情報などをご覧いただけるようになります。また、ソフトウェアのリビジョンアップ情報の提供などもご契約者様だけのサービスとなります。

「PP・サポートサービス」の詳しい内容については、以下をご覧ください。

[PP・サポートサービス] ご案内のページ

<http://www.nec.co.jp/service/support/pp/index.html>



商標について

ESMPRO、DianaScopeは日本電気株式会社の登録商標です。その他、記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

© NEC Corporation 2010
NECの許可なく複製・改変などを行うことはできません。
このマニュアルは再生紙を使用しています。